

再評価結果（平成17年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名 ひだか 日高自動車道（一般国道235号） あつまもんべつ 厚真門別道路	事業区分 一般国道	事業主体 国土交通省 北海道開発局
起終点 自：北海道勇払郡厚真町字浜厚真 至：北海道沙流郡門別町字平賀		延長 20.0 km
事業概要 日高自動車道は、北海道縦貫自動車道苫小牧東ICで分岐し浦河ICに至る延長約120kmの一般国道の自動車専用道路である。このうち厚真門別道路は、厚真ICから門別ICに至る延長20.0kmの区間で、物流効率化を支援し地域の自立発展に寄与する。		
H2年度事業化 H一年度都市計画決定		H4年度用地着手
全体事業費 約661億円		事業進捗率 93%
計画交通量 18,400台/日		供用済延長 8.6km
費用対効果分析結果 B/C (事業全体) 3.4 (残事業) 27.3	総費用 (残事業)/事業全体 81 / 818億円 事業費：46/756億円 維持管理費：35/62億円	総便益 (残事業)/事業全体 2,221 / 2,748億円 走行時間短縮便益：1836/2277億円 走行費用減少便益：295/361億円 交通事故減少便益：89/110億円
基準年 平成16年		
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.7(交通量+10%) B/C=3.0(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.1(事業費+10%) B/C=3.7(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=3.0(事業期間+20%) B/C=3.5(事業期間-20%)		
事業の効果等 ・国土・地域のネットワークの構築（日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する） ・円滑なモビリティの確保（新千歳空港へのアクセス向上が見込まれる） ・物流効率化の支援（特定重要港湾苫小牧港へのアクセス向上が見込まれる） ・安全で安心できる暮らしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる） 他10項目に該当		
関係する地方公共団体等の意見 厚真門別道路は、救急患者の搬送時間の短縮、災害時の避難・代替路の確保、札幌圏や空港アクセス等の物流拠点と高速交通アクセスによる物流効率化や地域資源を生かした観光施策の推進を図るため1市15町の首長で構成される高規格幹線道路日高自動車道早期建設促進期成会など3つの期成会の整備促進の要望を受けている。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成10年に日高自動車道苫小牧東IC～厚真IC間20km供用。平成15年度に日高自動車道厚真IC～鶴川IC間L=8.6km供用。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部用地難航箇所や軟弱地盤対策に時間を要したが、平成15年に厚真IC～鶴川IC間延長8.6kmを供用した。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残区間鶴川IC～門別IC間L=11.4kmにおいては、埋蔵文化財調査が平成15年に終了。用地取得が順調に進めば平成18年頃供用を図る予定である。		
施設の構造や工法の変更等 新技術の補強土吹付工の活用や、高耐候性シリコン変性アクリル樹脂塗料の採用によりコストの縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。